

# 「小樽市ふるさとまちづくり協働事業」 事業報告書

1/2

<b>団 体 名</b>	子育て支援ワーカーズびすけっと		
<b>事 業 名</b>	あそびで笑顔のまちづくり「みんなであそぼ♪」		
<b>実施期間</b>	H28年2月28日(日)10:30~15:00		
<b>事業の目的及び期待する効果</b>	温もりのある木のおもちゃや昔遊びなどを通して市民が自由に遊んだり、軽運動で体を動かしながら楽しいひと時を過ごし、笑顔で心豊かに子育てを見守り支え合う地域となる事を目的とする。地域の人々が世代を超え、多くの人と関わりを持ち、繋がりを深めていくことで地域一帯となって子育てしやすい街となる事を期待する。		
<b>実施額</b>	事業費	150,497円	助成額 130,000円
<b>事業内容</b>	<p>★天候に左右され野外での行動が減る時期に、子育て中の親子に限らず市民や観光客などにも参加してもらえよう小樽駅周辺の公共交通機関で来場しやすく、観光客も参加しやすい場所として体育館の様な広いスペースの運河プラザでイベントを開催。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市民や学生にボランティアとして開催当日関わって貰う市民参加型。</li> <li>・木のおもちゃを手作りをされている方のおもちゃをお借りしたり、フェルト布で飾りを作成している方の作品の発表をしたりと地域の方とのつながりから貴重な人材と技術を紹介する。</li> <li>・小樽市子育て支援課の子育て支援センターから手作りおもちゃと授乳、オムツ替えテントを貸し出してもらい行政の備品を活用する。</li> <li>・家庭ではなかなか体験できない良質な木のおもちゃ、ままごと、汽車などで長時間ゆっくりと触れ合ってもらう。</li> <li>・若い世代、子どもへ昔遊びの楽しさと素晴らしさを伝える。</li> <li>・軽運動 ミニ運動会競技として乗り物競争とパクパク競走を実施する。 体を動かして遊ぶ遊具として滑り台やトンネル、けんぱあそびなどを設置する。</li> </ul>		

○内容が分かる「資料やチラシ等」を添付してください

○事業の日程について

月日	内容	想定事業効果 (参加人数等)	事業効果 (実績)
H28年2月28日	多種のおもちゃで自由遊びや軽運動(ミニ競技等)	150人	221人
	221人 内訳(市内77世帯 市外6世帯 未記入1世帯)		
	内訳 大人112人(大人のみ参加者11人を含む)		
	子ども109人 計221人		

○事業評価について

1. 事業の目的の達成度

上記の事業目的とする「市民の方」手作りの木製からくりおもちゃ、ポーリング、的あて、乗り物など、また昔遊びは「杜のつどい」さんに担当してもらい、軽運動に関しては、商大生や地域の方に協力をうけ、貴重な人材と技術を紹介する事ができました。行政の備品を活用することもできました。参加者みなさんに楽しく参加してもらうことができ、地域の人々が世代を超え、多くの人と関わりを持ち繋がりが出来ました。

来場者の親子のみならず、通りがかりで来場されたみなさんの笑顔も見られました。

2. 参加した方々や、周辺の方々の満足度

「毎日これやってるの?」「今度、いつあるんですか?」「そばに孫がないのでこのイベントに参加してもらい、楽しかったです」「小樽ではこのような小さなお子さんと気兼ねなく遊ばせてもらえる場所があるのですね」とのお言葉をいただきました。

協力していただいたスタッフからは「お役に立ててうれしかった」「幅広い世代の方と交流ができ楽しかった」学生さんからは「今後の活動に参考になる事が多かった。地域貢献の必要性を再確認した。引き続き協力し小樽を活気ある街にしていきたい」との感想をいただきました。

3. 今後の事業について

初の開催で試行錯誤する事が多かった。運河プラザで靴を脱いでの催しは初と言う事で会場設営での安全対策と室温に気を配り検討に検討を重ね、前日に会場設営をすることができ本当に助かった。当日の天候と感染症が流行した事による不安があったが駐車場が少なくても冬場の寒い時期でも来場してくれる方が多い事がわかった。年配者が子どもや保護者に昔遊びの楽しさを伝え、日本の伝承遊びにふれる貴重な場面が多く見られた。遊びを介して人と人とのふれあいの中からぬくもりを感じ、地域で子どもを見守る社会となる事を期待したい。

今後は開催時期、会場、内容、観光客への周知方法等を検討し、必要としてくれる方がいて笑顔で活気あるまちづくりにつなげることを目標に続けていきたいと感じました。

4. 「小樽市ふるさとまちづくり協働事業」に関する要望事項等